

令和 7 年度

業務設計書（見積参考）

業務名： 南北線走行路面改修工事検討業務

本設計書は、発注者の施工計画に基づいて作成した設計図書の一部を、見積り算定の参考として提示するもので、
契約上、これを拘束するものではありません。

令和 7 年 8 月 単価適用

交通局 高速電車部 施設課 土木係

工事起点-2K182M000～工事終点-2K160M000
南北線走行路面改修工事検討業務

位置図



事業年度	令和7年度		
業務名	南北線走行路面改修工事検討業務		
図面名称	位置図		
縮尺		図面番号	1 / 2
札幌市交通局高速電車部			

(25 (交) 4417号)	業務名	南北線走行路面改修工事検討業務
------------------	-----	-----------------

1. 積算金額

区 分		設計金額 (円)
業 務 委 託 費		
内 訳	業 務 価 格	
	消費税相当額	

業務説明書

1. 概要

現地踏査	一式	管理業務	一式
走行路面改修検討	一式	報告書作成	一式
照査	一式	打合せ	一式

2. 場所 南北線麻生駅留置部

3. 期間 契約書に示す着手の日から令和 8年 3月19日までとする。

4. 図面 別添のとおり。

5. 仕様書 札幌市設計業務共通仕様書、札幌市設計業務等積算基準、鉄道土木の計画・調査・設計報酬積算の手引き（改訂第12版）、北海道建設部土木事業委託積算基準【2024. 10】及び特記仕様書による。

6. 特記仕様書 別添のとおり。

特 記 仕 様 書

1 業務概要

本業務は、地下鉄南北線の走行路面改修に向けた工法の効果検証を行うため、別途発注の「高速電車走行路補修ほか工事（南北・東西線）」における走行路面改修工事（南北線地下部）の試験施工に係る調査・検証を行い、当該改修工法の工程及び使用資機材等の最適化を検討するものである。

2 業務内容

（１）打合せ

本業務においては、以下の事項について、発注者・工事請負人・受託者の三者間で打合せを実施するものとする。

① 打合せ対象事項

- ・設計条件のうち、現場条件の確認を要する事項
- ・施工時における設計上の配慮事項
- ・現場の形状・状態・施工条件が設計と一致しない場合や、施工条件に予期せぬ事象が生じた場合の対応方法

② 打合せ実施時期

第１回：工事請負人と共に現地調査等が完了した時点で実施する。

第２回以降：発注者および工事請負人との協議により実施時期を決定する。打合せ回数に準じて適宜実施するものとする。

（２）現地踏査【夜間施工】

地下鉄南北線の改修工事は全線対象とすることを想定しているが、現地踏査は以下のとおり夜間にて一部区間に限定して実施する。

- ① 踏査対象は、１駅間（全駅間の平均延長：約 0.8km）とし、駅ホーム部および駅間部の現地状況を把握することを目的とする。
- ② 現地踏査により得られた情報は、設計・検討内容に適切に反映するものとする。
- ③ 踏査を行う具体的な区間については、業務担当者と協議の上で決定する。

（３）管理業務【夜間施工】

麻生駅留置部にて実施する試験施工の作業状況を把握することを目的として、以下の通り夜間にて現地調査を行う。

- ① 調査回数は、着手時（現場）に１回、施工中に３回、施工完了後の出来形確認として１回の計５回とする。
- ② 調査の実施時期については、発注者・工事請負人・受託者の三者間で事前に協議の上、決定するものとする。

（４）走行路面改修検討

現地踏査及び管理業務等の結果を踏まえ、走行路面改修工事における工法の検討を下記の通り行う。

- ① 各工程において、最適な必要人工を算出し、効率的な施工方法となるよ

う改修に係る工程を検討する。

- ② 工程の機械化や使用資材の変更による、さらなる効率化および工期短縮の可能性についても提案する。ただし、詳細な検討は本業務の範囲外とし、本業務の成果をもとに検討し必要に応じて別途業務として発注するものとする。

(5) 報告書作成

検討結果を取りまとめ、走行路面改修工事に係る最適工法を記載すること。報告書の内容は三者間の打合せにおいて確認をし、確認後サインを行うこととする。

3 一般事項

- (1) 業務上で不明な点は、業務担当職員と協議を行うこと。また、受託者は、業務上知り得た事項を他人に漏らしてはならない。
- (2) 別途発注の「高速電車走行路補修ほか工事（南北・東西線）」の請負者と綿密な連絡調整を行うこと。
- (3) 新たな検討項目等が発生した場合は、協議の上、必要に応じて設計変更を行い、対応するものとする。
- (4) 受託者は、すべての関係者と調整したのち、調査実施計画書を提出すること。

また、業務着手時には以下の書類を提出すること。

[提出書類]

業務着手届	A 4 版	2 部
主任技術者経歴書	A 4 版	2 部
業務工程表	A 4 版	2 部

- (5) 調査、資料収集、他の関係機関等との打合せにあたっては、責任をもって行うこと。また、報告書の取りまとめに際しては、専門知識がなくても分かるよう工夫して資料作成を行うこと。
- (6) 当局より、本業務に関連する資料・成果品を貸与する。（貸与証明書を取り交わす事）
- (7) 成果品を作成する際には、できる限り両面印刷を活用し、環境負荷の低減に努めること。

4 歩掛条件

(1) 打合せ

打合せ回数は中間打合せ 3 回を含む計 5 回としている。

歩掛については、設計業務等標準積算基準書【令和 6 年度版】土木設計業務等標準歩掛を準用している。

(2) 現地踏査・管理業務・走行路面改修検討・報告書・照査

- ① 上記歩掛は、「鉄道土木の計画・調査・設計報酬積算の手引 改訂第 12 版」（以下「鉄道土木手引」）の路線計画-4 を準用する。

② 管理業務歩掛

管理業務に係る歩掛は、「北海道建設部 土木事業委託積算基準 (2024.10)」の発注者支援業務等を準用する。

③ 夜間作業における作業時間

本業務は夜間作業を含み、軌道内での作業となる場合は、地下鉄の営業終了後に停電（目安：午前0時40分頃）が確認されてから作業を開始し、午前5時までに資機材の搬出および後片付けを含む全作業を完了する必要がある。ただし、停電確認前に当局が定める手続きや資機材搬入を行う必要があるため、作業時間は以下のとおりとする。

作業時間：午前0時00分～午前5時00分

・労務単価の補正

夜間作業における労務単価は、以下の補正係数を用いて算出する。

労務単価 = $P \times 1.71$ ※P：基準日額（昼間）

(3)(2) 歩掛の補正に関して「地形・平地の場合」とし「現地踏査・設計調査」に関しては-10%としている。また設計延長による補正は行わない。

5 納入成果品について

納入時の成果品は以下のとおりである。成果品提出前に、その内容について業務担当職員と打合わせを行うこと。

〔納入成果品〕

- | | | |
|----------------|-----|-----|
| ・業務報告書 | A4版 | 一式 |
| ・各種設計計算書・数量計算書 | | 一式 |
| ・電子データ | 正 副 | 各1部 |

6 その他事項

- (1) 業務遂行にあたっては、各要領・指針等を使用し適切に行うこと。また、使用する各要領、指針については業務作業計画書に記載し、業務主任の承諾を得るものとする。また、業務において使用した特許、公式、及び数量等は、その出典を明確に報告書に記載するものとする。
- (2) 本業務は、業務着手日を令和7年9月22日と想定し履行期間の設定及び積算を行っている。
- (3) 主任設計者の資格については、別紙資料を参照すること。
- (4) 法令遵守
受託業務の実施にあたっては、法令違反又は不適切行為を防止するため、法令及び作業ルール等の遵守を徹底すること。
- (5) その他
仕様書に記載のない事項、その他不明な点は、業務担当職員と適宜協議すること。

対象表一覧

試験施工箇所対象表

調査対象区間		区間長 (m)
麻生駅 留置線部	-2k182m～-2k160m 南行 内外	22.0×2
対象延長計		44.0

● 特記仕様書「主任設計者・照査技術者の配置について」

- (1) 本業務においては、「主任設計者」は〔表-1〕の欄中、◎印を附した部門を1つ以上有する者、または〔表-2〕に該当する者を配置することとする。
- (2) 本業務においては、「照査技術者」(仕様書 1-7)を配置するものとし、〔表-1〕の欄中、◎を附した部門を1つ以上有する者とする。なお、「照査技術者」は「主任設計者」を兼ねることはできない。

〔表-1〕技術士、RCCM資格者

技術士			RCCM		
技術部門	部門指定		専門技術部門	部門指定	
1 機械部門			1 河川・砂防及び海岸部門		
2 船舶・海洋部門			2 湾岸及び空港部門		
3 航空・宇宙部門			3 電力土木部門		
4 電気電子部門			4 道路部門	◎	
5 化学部門			5 鉄道部門	◎	
6 繊維部門			6 上水道及び工業用水		
7 金属部門			7 下水道部門		
8 資源工学部門			8 農業土木部門		
9 建設部門	◎		9 森林土木部門		
10 上下水道部門			10 造園部門		
11 衛生工学部門			11 都市計画及び地方計画部門		
12 農業部門			12 地質部門		
13 森林部門			13 土質及び基礎部門		
14 水産部門			14 鋼構造及びコンクリート部門	◎	
15 経営工学部門			15 トンネル部門		
16 情報工学部門			16 施工計画、施工設備及び積算部門		
17 応用理学部門			17 建設環境部門		
18 生物工学部門			18 建設機械部門		
19 環境部門			19 水産土木部門		
20 原子力・放射線部門			20 電気・電子部門		
21 総合技術監理部門	◎		21 廃棄物部門		

〔表-2〕実務等経験者

「当該設計業務に関する技術上の知識を有し、次のいずれかに該当する者」で委託者が承諾した者。

- (1) 学校教育法(昭和 22 年法律第 26 号)による大学卒業者にあつては、建設コンサルタント等業務について 13 年以上の実務経験を有する者
- (2) 学校教育法による短期大学若しくは高等専門学校卒業者にあつては、建設コンサルタント等業務について 15 年以上の実務経験を有する者
- (3) 学校教育法による高等学校卒業者にあつては、建設コンサルタント等業務について 17 年以上の実務経験を有する者

設計総括表（金抜き）

業務番号		業務名	南北線走行路面改修工事検討業務	当 初	業務	設計業務	
					項目	走行路面設計	
項目・工種・種別				単位	数量	数量増減	摘要
走行路面設計				式	1		
走行路面設計				式	1		
走行路面改修検討				式	1		
直接経費				式	1		
直接経費				式	1		
旅費交通費				式	1		
電子成果品作成費				式	1		
直接原価				式	1		
直接経費及び間接原価（その他原価				式	1		
業務原価				式	1		
一般管理費等				式	1		
設計業務価格				式	1		
消費税等相当額				式	1		

設計総括表（金抜き）

[illegible]

設計内訳書（金抜き）

業務番号		業務名	南北線走行路面改修工事検討業務	当 初	業務	設計業務	
					項目	走行路面設計	
項目・工種・種別・細別			規格	単位	数量	数量増減	摘要
走行路面設計				式	1		
走行路面設計				式	1		
走行路面改修検討				式	1		
現地踏査【夜間】				km	0.8		
管理業務【夜間】			2 k m以上～12.5km未満 1現場 1回+3回+1回 (着手時+施工時+出来 形時)	回	5		
走行路面改修検討				km	0.8		
報告書作成				km	0.8		
照査				km	0.8		
打合せ			中間打合せの回数 3回	式	1		
直接経費				式	1		
直接経費				式	1		

設計内訳書（金抜き）

業務番号		業務名	南北線走行路面改修工事検討業務	当 初		業務	設計業務
						項目	直接経費
項目・工種・種別・細別			規格	単位	数量	数量増減	摘要
旅費交通費				式	1		
旅費交通費(率計上)				式	1		
電子成果品作成費				式	1		
電子成果品作成費				式	1		
直接原価				式	1		
直接経費及び間接原価（その他原価				式	1		
業務原価				式	1		
一般管理費等				式	1		
設計業務価格				式	1		
消費税等相当額				式	1		
業務委託料				式	1		

一式当たり内訳書（金抜き）

第 1号内訳書	打合せ				単価適用年月	2025. 08
					歩掛適用年月	2025. 08
					労務調整-超過-規制	1. 000-00000002000
名称		規格	単位	数量	数量増減	摘要
打合せ		3回				
			業務	1		
合 計						

一式当たり内訳書（金抜き）

第 2号内訳書	旅費交通費(率計上)				単価適用年月	2025. 08
					歩掛適用年月	2025. 08
					労務調整-超過-規制	1. 000-00000002000
名称		規格	単位	数量	数量増減	摘要
旅費交通費率分（設計業務）		滞在を伴わない	式	1		
合 計						

一式当たり内訳書（金抜き）

第 3号内訳書	電子成果品作成費				単価適用年月	2025. 08
					歩掛適用年月	2025. 08
					労務調整-超過-規制	1. 000-00000002000
名 称		規 格	単 位	数 量	数量増減	摘 要
電子成果品作成費		概略・予備・詳細設計	式	1		
合 計						

一式当たり内訳書（金抜き）

第 4号内訳書	旅費交通費率分（設計業務）				単価適用年月	2025. 08
					歩掛適用年月	2025. 08
					労務調整-超過-規制	1. 000-00000002000
名 称		規 格	単 位	数 量	数量増減	摘 要
旅費交通費率分（設計業務）			式	1		
合 計						

一式当たり内訳書（金抜き）

第 5号内訳書	電子成果品作成費				単価適用年月	2025. 08
					歩掛適用年月	2025. 08
					労務調整-超過-規制	1. 000-00000002000
名 称		規 格	単 位	数 量	数量増減	摘 要
電子成果品作成費			式	1		
合 計						

単-1号

1 次単価表（金抜き）

単価適用年月	2025. 08
歩掛適用年月	2025. 08
労務調整-超過-規制	1. 000-00000002710

現地踏査【夜間】		単位	km	数量	10
名称	規格	単位	数量	摘要	
理事・技師長		人	3. 6		
主任技師		人	3. 6		
技師（A）		人	3. 6		
技師（B）		人	3. 6		
計					
単価				円／km	

単-2号

1 次単価表（金抜き）

単価適用年月	2025. 08
歩掛適用年月	2025. 08
労務調整-超過-規制	1. 000-00000002710

管理業務【夜間】	2 k m以上～12. 5km未満 1現場 1回+3回+1回 (着手時+施工時+出来形時)			単位	回	数量	1
名称	規格	単位	数量		摘要		
技師（B）		人	0. 51				
計							
単価					円／回		

1 次単価表（金抜き）

単価適用年月	2025. 08
歩掛適用年月	2025. 08
労務調整-超過-規制	1. 000-00000002000

走行路面改修検討		単位	km	数量	1
名称	規格	単位	数量	摘要	
設計調査		km	1		
設計計画		km	1		
数量計算		km	1		
概要図作成【停車場配線略図準用】		km	1		
建設費概算		km	1		
工事工程作成		km	1		
計					
単価				円／km	

1 次単価表（金抜き）

単価適用年月	2025. 08
歩掛適用年月	2025. 08
労務調整-超過-規制	1. 000-00000002000

報告書作成		単位	km	数量	10
名称	規格	単位	数量	摘要	
理事・技師長		人	1. 5		
主任技師		人	2. 5		
技師（A）		人	4		
技師（B）		人	4		
技術員		人	4		
計					
単価				円／km	

1 次単価表（金抜き）

単価適用年月	2025. 08
歩掛適用年月	2025. 08
労務調整-超過-規制	1. 000-00000002000

照査		単位	km	数量	10
名称	規格	単位	数量	摘要	
理事・技師長		人	1. 5		
主任技師		人	1. 5		
技師（A）		人	2. 5		
計					
単価				円／km	

2 次単価表（金抜き）

単価適用年月	2025. 08
歩掛適用年月	2025. 08
労務調整-超過-規制	1. 000-00000002000

設計調査		単位	km	数量	10
名称	規格	単位	数量	摘要	
主任技師		人	2. 25		
技師（A）		人	2. 25		
技師（B）		人	4. 5		
技師（C）		人	4. 5		
計					
単価				円／km	

2 次単価表（金抜き）

単価適用年月	2025. 08
歩掛適用年月	2025. 08
労務調整-超過-規制	1. 000-00000002000

設計計画		単位	km	数量	10
名称	規格	単位	数量	摘要	
理事・技師長		人	0. 5		
主任技師		人	2		
技師（A）		人	2		
技師（B）		人	3		
技師（C）		人	4		
計					
単価				円／km	

2 次単価表（金抜き）

単価適用年月 歩掛適用年月 労務調整-超過-規制			2025. 08 2025. 08 1. 000-00000002000	
	単位	km	数量	10
	数量		摘要	
	1. 5			
	4			
	4			
	4			
			円／km	

2 次単価表（金抜き）

単価適用年月	2025. 08
歩掛適用年月	2025. 08
労務調整-超過-規制	1. 000-00000002000

概要図作成【停車場配線略図準用】		単位	km	数量	10
名称	規格	単位	数量	摘要	
技師（A）		人	0. 5		
技師（B）		人	1. 5		
技師（C）		人	1. 5		
計					
単価				円／km	

2 次単価表（金抜き）

単価適用年月	2025. 08
歩掛適用年月	2025. 08
労務調整-超過-規制	1. 000-00000002000

建設費概算		単位	km	数量	10
名称	規格	単位	数量	摘要	
主任技師		人	1. 5		
技師（A）		人	2. 5		
技師（B）		人	2. 5		
技術員		人	1. 5		
計					
単価				円／km	

2 次単価表（金抜き）

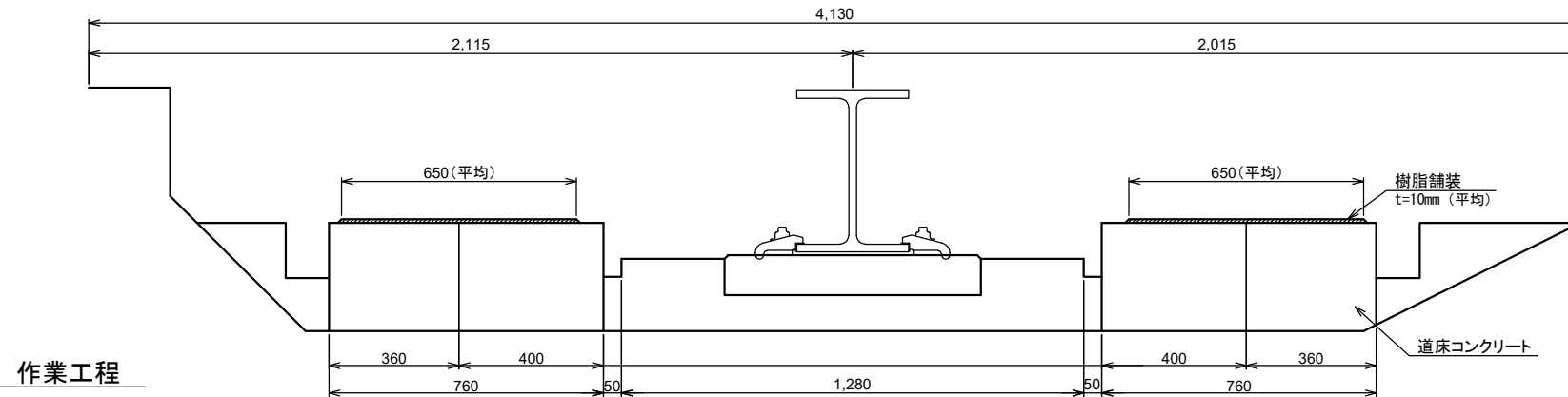
単価適用年月	2025. 08
歩掛適用年月	2025. 08
労務調整-超過-規制	1. 000-00000002000

工事工程作成		単位	km	数量	10
名称	規格	単位	数量	摘要	
主任技師		人	1. 5		
技師（A）		人	2. 5		
技師（B）		人	2. 5		
技術員		人	0. 5		
計					
単価				円／km	

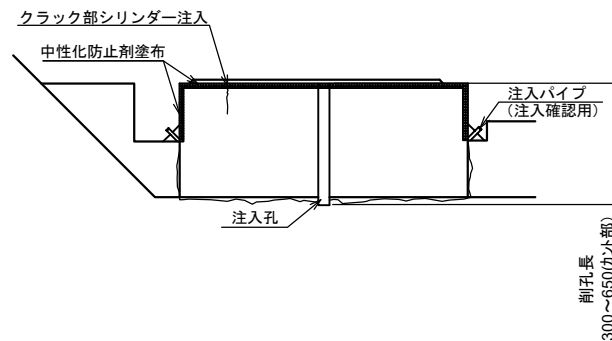
2次単価表（金抜き）

単価適用年月 歩掛適用年月 労務調整-超過-規制			2025. 08 2025. 08 1. 000-00000002000	
	単位	業務	数量	1
	数量		摘要	
	2. 5			
	2. 5			
	2. 5			
			円／業務	

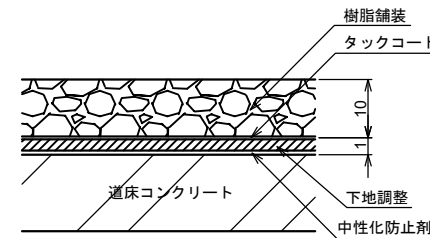
施工標準断面図 S=1/10



(15) 下地調整材表面仕上げ
(16) タックコート塗布
(17) 樹脂舗装敷設 ※2.※3.※4
(18) 樹脂舗装養生

$$S=1/10$$


樹脂鋪裝



- ※1 注入機から3～5kg/cm²程度の圧力で注入し、注入パイプからの吹き出しを確認すること。
- ※2 樹脂舗装の材料混合にあたっては、配合物の可使用時間を十分考慮すること。
- ※3 金ごて押えなどに行い、タイヤ軌跡中心線と平行にし高低差が生じないように注意すること。
- ※4 樹脂舗装は補修部分と既存部分で段差が生じないように、すり付けを行うこと。

事業年度	令和7年度		
業務名	走行路面改修工事検討業務(南北線)		
図面名称	走行路面改修工 南北線地下部 試験施工図		
縮尺	図示	図面番号	2/2

札幌市交通局高速電車部